

令和8年度学校自己評価システムシート (県立浦和東高等学校)

目指す学校像	確かな人間力と教養を育み、生徒一人ひとりが自己の探究と実現ができる学校
--------	-------------------------------------

※学校関係者評価実施日は、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

重点目標	1 学力の向上をめざし、授業改善と主体的な学習習慣の確立を進める。 2 自律心と規範意識を高める生徒指導と学習及び部活動の環境整備を進める。 3 自己探究により進路意識を高め、進路希望の実現率を高める指導を進める。 4 保護者・地域連携と情報発信を充実させ、開かれた学校づくりを推進する。 5 ICT活用指導力の向上とICT環境の整備、学校教育活動のデジタル化を進める。
------	---

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

出席者	名
学校関係者	名
生徒	名
事務局(教職員)	名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価							学校関係者評価		
年 度 目 標					年 度 評 価 (月 日 現 在)			実 施 日 令 和 年 月 日	
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校関係者からの意見・要望・評価等	
1	<ul style="list-style-type: none"> 授業は規律ある雰囲気で行われており、教員間の研修も活発で常に授業改善に取り組んでいる。一方、主体的な学習習慣の確立が課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の興味・関心を引き出している。 生徒の学習習慣が確立している。 	<ul style="list-style-type: none"> 年次研修の研究授業、授業公開期間の設定など、積極的な授業研究を実施する。 校外で開催される各種研修会に参加し、授業に還元する。 各教科における課題等の提示により、家庭学習の時間を確保する。 学習室の積極的活用を促進する。 生徒・教員対象アンケートを実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 主体的・対話的な展開の授業を取り入れられたか。 生徒・教員対象アンケートの結果から授業改善の成果が見られたか。 昨年度より授業以外の学習時間が増加したか。 昨年度より学習室利用者が増加したか。 					
2	<ul style="list-style-type: none"> 交通事故、バスの乗車マナー、バス通学者増加に伴う乗車困難などの問題が生じている。 自転車のヘルメット着用を校則に導入したが、着用者が少ない。 凡事徹底(挨拶、時間厳守、身だしなみ)が浸透しきれていない。 SNSの使い方が悪く、トラブルになるケースがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 交通ルールやバス乗車マナーがしっかり浸透している。 ヘルメットの重要性を理解し、着用者が増えている。 3本柱(挨拶、時間厳守、身だしなみ)と、正しいSNSの使い方ができている。 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な場面での交通安全指導・講話を実施する。 定期的な立哨指導を実施する(下校含む)。 バス乗車指導を実施する。 バス会社や浦和学院高校、大宮開成高校と調整を図る。 日常の様々な場面において生徒に凡事徹底を意識させる教職員からの積極的な投げかけや機会を増やす。 生徒がつくるスマホルールの活用と定期的な振り返りを行う。 生徒会と連携して、主体的に活動させながら目標達成(ヘルメット、凡事徹底、SNS使い方)に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 交通事故の件数や乗車マナーに対する外部の批判的な意見が減少したか。 昨年度よりヘルメットを着用する生徒の人数が増加したか。 バス通学生徒へのヒアリングで前向きな回答が得られたか。 日常の観察や、担任、教科担当、部活動顧問との情報共有を通じ、凡事徹底や正しいSNSの使い方ができているか、また安全で安心な学校になっているか。 					
3	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が主体的に進路活動を行うことができるよう、探究活動と進路行事を活用し生徒の進路意識を高める必要がある。 入試方法の多様化、学部の新設・統合などの変動が近年多くあり、生徒の進路希望実現のため、最新情報を教員間で共有し、計画的・系統的な進路指導を実践する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 進路活動と自己探究に生徒が積極的に参加できている。 大学入試説明会等の外部説明会を利用して入試制度に係る知識を収集し、教員間で共有している。 3年間を通した系統的な指導計画を作成し、事前指導等も用いて進路指導・進路行事を効果的に実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が進路行事を通じて、必要な情報を自ら収集し、積極的に進路実現に取り組む姿勢を養う。 教員対象の学校説明会などで得た進路情報を、教職員間で共有する体制を整備し、生徒への適切な情報提供の充実を図る。 適切な時期に模擬試験や外部試験を行い、その結果を参考に生徒の学習状況の改善を図るだけでなく、面接指導や小論文指導、一般受験指導にも活かした進路指導を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 計画的に目的を持ったガイダンスの企画・運営を行い、進路行事・進路結果の満足度90%以上を達成したか。 生徒の志望校における教員対象の学校説明会に多く参加し、教員間で共有を図れたか。 各模擬試験の結果を進路指導に上手く活かすことができたか。 					
4	<ul style="list-style-type: none"> 学校説明会の内容が大変好評であるため、良い部分を生かしながら発展させていく。一方で志願者の減少が顕著であり、入試形態も大きく変化するため、説明の方法や時期等の工夫が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> 説明会等を適切な方法、時期に実施する。 情報を適切な方法、時期に提供している。 	<ul style="list-style-type: none"> 説明会・部活体験等を増設する(説明会1回増、部活体験1回増、その他平日午後の説明会や教育機関向け説明会の増設)。 校外で開催される高校説明会等に参加する。 学校HPの頻繁な更新や一斉メールによるリアルタイムの情報発信を進める。 SNS(インスタグラム)を活用した情報発信を開始する。 地域活動やボランティア活動等に積極的に参加する。 生徒・保護者対象アンケートを実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校説明会等を通し本校への理解が深まり、進学意欲が高まったか。 学校説明会の工夫・改善が図られたか。 志願者数が昨年度より増加したか。 積極的な情報提供ができたか。 保護者対象アンケートの結果から情報が家庭に確実に届いているか。 					
5	<ul style="list-style-type: none"> 授業や教育活動においてICT機器やツールをより効果的に活用する必要がある。一方、ICT環境の急速な変化による教員の混乱や負担が非常に大きい。このため、教員間で問題点を解決しながら効果的にデジタル化を図る必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業や教育活動においてICTツールを効果的に活用している。 ICT環境の活用によって校務負担が軽減されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ICTツールを活用した授業に関する授業見学や研修・意見交換を実施する。 教員の校務負担を減らせるようなICT活用方法の共有を進める。 教員対象アンケートを実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ICTツールを活用した授業を行うことができたか。 生徒・教員対象アンケートの結果から授業改善の成果が見られたか。 教員対象アンケートの結果からICT環境の活用による校務負担の軽減が見られたか。 					